

「チャンス フォー オール チルドレン 宿泊キャンプ in 赤城」

～児童養護施設対象事業～

1. 趣旨

国立青少年教育振興機構の各施設において、経済的に困窮した家庭の子供を対象に、自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、子供たちの基本的な生活習慣の確立や自立する力を身につけることを目指す。児童養護施設の子ども達と大学生ボランティアの交流を深め、自然体験や食育、工作体験などを行うことにより、心身の健康増進や子供の健全育成を図る。

2. 事業の概要

(1) 期日 平成30年10月13日(土)～10月14日(日)【1泊2日】

(2) 参加者 児童養護施設希望館八幡の家

小学生 男子3名 女子4名 引率者 男子1名 女子2名

3. 企画運営のポイント

児童養護施設(希望館八幡の家)で生活している子ども達を対象にこのキャンプを企画し、児童養護施設の子ども達がやってみたいと思うことを聞きながら、普段体験できないような活動を中心にプログラムを構成した。はじめに参加者とスタッフとの交流を図るために広い場所を使ってアイスブレイクを十分に行った。次に、今まで使ったことのない鉋を使って箸作りに取り組み、世界で一つのマイ箸を作った。その後は野外での手作りピザとポトフ作りに取り組み、生地作りから野菜切り、ドラム缶を利用してピザを焼き上げるところまで体験できるようにした。入浴時は、大学生ボランティアと一緒に入ることで、参加者とボランティアスタッフとの絆を深められるようにした。

2日目は、参加者の希望していたうどん打ち体験を行った。粉からうどんを作ることで、その大変さや食事のできることの大切さを感じられるようにした。さらにおわりの会では、2日間の思い出をスライドショーで振り返り、大学生ボランティアとの涙の別れを演出した。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
10月 13日 (土)	受付 はじまりの会 オリエンテーション アイスブレイク	昼食 ドラム缶ピザ&ポトフ作り	
10月 14日 (日)	うどん打ち体験	おわりの会 (スライドショー)	

5. 主な活動内容



「アイスブレイク」



「アイスブレイク」



「昼食」



「かな箸作り」



「かな箸作り」



「ピザ作り」



「ピザ作り」



「うどん打ち体験」



「うどん打ち体験」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：9人 やや満足：1人 やや不満：0人 不満：0人

(2) 参加者の声

- ・子供たちが施設で生活しているときには見せないような真剣な表情で、ものづくりや調理をしている姿を見ることができた。
- ・学生ボランティアと子供たちが非常に楽しく遊ぶ様子が見られてとてもよかった。
- ・空いている時間に、手遊びなどのプログラムがあるとよかった。
- ・ピザ作りやうどん打ちなど、いろいろな体験ができてよかった。

(3) 成果

- ・子供たちが新しいことに挑戦することの楽しさを知ることができた。また、いろいろな物を自分の力で作ることを通して、ものづくりの楽しさも知ることができた。
- ・いろいろなことに挑戦することで、子供たちの「もっとやりたい」と思う気持ちを引き出すことができた。

(4) 課題

- ・今回は児童養護施設で生活している小学生のみの参加であった。中学生や高校生も一緒に生活しているのだが、学校の部活動やアルバイト等があったため参加できなかった。次回は中学生や高校生の予定を考慮して、日程やプログラムを調整していきたい。